

金沢宣言

132の国と地域に存在する119の国家青年会議所の代表が金沢に集まり、世界の恒久的平和と安定に向けて宣言文が採択されました。

金沢宣言について

2015年9月25日国連総会にて採択されました国連持続可能な開発目標（UN SDGs）について、JCIは、国連の経済社会委員会（ECOSOC）におけるGENERAL STATUS（最高位）の資格を有する国際組織として、132の国と地域に存在する119の国家青年会議所と共に、全面的に協調・そして協力しUN SDGs達成に向けて、国際社会に対して貢献していくという意思表示を行いました。青年会議所の運動がはじまり、100年を迎える記念すべき年に、日本の金沢の地で開催された世界会議にて採択されたことから「金沢宣言」としています。



日本青年会議所の具体的に取り組むべき目標と指標について

目標6 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
指標1 2030年までにすべての人々の安全で安価な飲料水の普遍的かつ平等なアクセスを達成する。

金沢宣言における公約について

今年度の世界会議が金沢で開催されていることを受け、日本青年会議所は2016年度より目標6：「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続的な管理を確保する」を推進することを誓う。この宣言文の協約国である全ての国家青年会議所は、2016年JCI世界会議のホスト国でもある日本青年会議所の例に倣い、自身の国に最も関係がある国際目標を達成するために尽力することを誓う。

2016以降の国際協力について

世界中では、約8億人がきれいな水にアクセスできず、一日1,400人の5歳未満の子供たちの命が失われています。日本JCでは、アジア太平洋地域において、きれいな水にアクセスできない3億人に対して、きれいな「水」普及のために、汚染されている水を改良する国際協力を行います。私たちが、国連、行政、民間企業、国内にいる35,000名の会員、さらに、近隣諸国におけるJCIのネットワークを最大限に活用した国際協力によって、世界の恒久的平和と安定に寄与していきます。

公益社団法人日本青年会議所
会頭 柴田剛介

お問合せ : 公益社団法人日本青年会議所 国際グループ
国際協力関係委員会 委員長 石田全史
Mobile to : 090-4664-2952 / Mail to : masafumi.i@me.com